

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	[492]シティブランド構築事業			
予算科目	2 款 1 項 14 目			
総合計画での位置付け	参画と協働の郷(くに)づくり 住民自治の推進			
所管課情報	担当課: 未来づくり戦略室		電話番号(内線): 668	
記入者情報	所属長: 坪内 圭也		担当責任者: 岡井 隆治	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 26 年度 【開始年度】平成26年度			
事業の対象	一般市民			
根拠法令等				
事業の目的	市が合併10周年を迎えるに当たり、市民が一体感を持ってまちづくりに参画するための取り組みとして、市の魅力を最大限に生かすためのシティブランドを構築するとともに、そのイメージを広く周知・発信する象徴としてロゴマーク等を制作し、積極的なシティプロモーションを行うことを目的とする。			
事業の内容	各地域・団体等を代表する市民や市内事業者による市民ワークショップを開催し、意見交換しながらブランドイメージを構築する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	0	6,150	8	6,105
	人件費	0	3,977	1,590	3,977
	合計	0	10,127	1,598	10,082
人件費 内訳	人工数	0.00	0.50	0.20	0.50
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	0	3,977	1,590	3,977
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	3,000	0	3,000
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	7,127	1,598	7,082

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
市民ワークショップ	回	-	9	4	9
ワークショップ1回当たり参加人数	人	-	20	28.8	26.9
フィールドワーク	回	-	0	1	1
シティプロモーション	回	-	1	0	1

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	0	0	0	0	0	0

成果指標				
成果指標	1回当たりのプロポーザル参加人数			
指標設定の考え方	市民参加を促し、広く意見を求めることでより良いデザインの選択が可能となるため			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	-	20	0	0
実績	-	26.9	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	9回の市民ワークショップ及び1回のフィールドワークを経て、伊予市ブランドロゴを誕生させることができた。この間、市内業者や農漁業者、大学生など幅広い市民の方々から率直な意見が出され、ブランドロゴ製作に当たり原動力となった。本事務事業は構築に重きを置いているため、本年度にて完了事業となるが、次年度からは作成したブランドロゴをいかに生かし、伊予市の魅力を市外に発信していくか、さらなる検討が必要である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	A
		成果向上の可能性	5	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	シティブランドのロゴマークを刷り込んだトートバック、ボール、ペンクリアファイル、市製封筒、名刺、バックボードなどを作成し、効果的な普及に取り組んでいる。今後もさらに商品パッケージや特産品等様々な分野でシティセールスのツールとして活用し、事業展開できるものと期待できる。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題